

令和８年度やさしい未来都市会議



日時：令和８年８月１９日（水）

１４：３０～１６：００

場所：東広島市役所本館３階 ３０３会議室

次 第

１ 開会 市長挨拶

２ 出席者紹介

３ 資料説明

４ 意見交換

５ 閉会

令和8年度やさしい未来都市会議 出席者名簿

団体等	役職等	委員氏名
広島大学	学長	越智 光夫
近畿大学工学部	学部長	樹野 淳也
広島国際大学	学長	清水 壽一郎
東広島地区医師会	会長	小林 健二
東広島青年会議所	理事長	乗越 雅也
東広島市女性連合会	会長	弓場 美代
連合賀茂豊田地区連絡会	議長	阿部 亮介
広島銀行	常務執行役員	今村 徹
NHK広島放送局	副部長	秦 康恵

テーマ：みんなで育てる、このまちの未来 —こどもから若者までを地域で支える—

1. はじめに	2
2. これまでのテーマ	3
3. 背景と課題	4
4. 第五次東広島市総合計画後期基本計画	6
5. 本市が行う人財への投資	9
6. 本市が取り組む人材育成の施策	12
7. 「まとめ」と「本日協議したい論点」	23

1. はじめに



【やさしい未来都市会議】

社会情勢の変化や新たな政策課題に対応するため、本市の方向性や主要施策の推進について、外部の有識者と意見交換し、その内容を施策形成に活かしていくことを目的とする。

**【今回のテーマ】 みんなで育てる、このまちの未来
—こどもから若者までを地域で支える—**

【本日協議したい論点】

- 1 東広島市が行っている人材育成の施策等について、さらに充実させた方がよいと思う点は何か
- 2 地域社会が連携し、人を育てる仕組みをどのように構築すべきか

2. これまでのテーマ



年	テーマ	対応
R3	都市成長戦略 (若者・女性から選ばれるまち) について	● 翌年度（R4～R7年度）の施策に反映 ● 令和7年3月に策定した「第五次東広島市総合計画 後期基本計画」の4つの重点テーマとして設定 ● 令和7年度から新たに担当部長を設置し、取組みを強化
R4	第1回 子育て・女性活躍 第2回 循環型経済の実現	
R5	第1回 人口減少地域総合対策 第2回 次世代学園都市の実現に向けて ～Town & Gown構想と共創のまちづくり～	
R6	女性活躍推進	
R7	人財尊重社会の構築	

- R8年度の施策に反映（予算化）
 - ・ 国際教育に関する調査検討（新規）
 - ・ グローバル人材育成の支援（新規）
 - ・ 地域まるごと探求ラボの展開（拡充）
 - ・ 協同労働インターンシップの実施（拡充）

3. 背景と課題（国）



1 国の動き「骨太の方針2026」（人材力の強化・人材総活躍）

- ◆ 幅広い人材の育成・確保のため、国・地域における取組を推進する。教育政策、産業政策と雇用政策を始めとする関係政策を連携させ、人材育成を一気通貫で推進する。
- ◆ 人づくりの礎である教育の質を向上させる。

2 国が抱える課題

国が「人材力の強化」を重点課題として掲げる背景には、人口減少・少子高齢化による担い手不足の深刻化に加え、AI等の技術革新や国際競争の激化により、これまで以上に高度な知識や創造性を持つ人材が求められていることがある。持続的な経済成長や地域社会の活力維持のためには、一人ひとりが能力を最大限発揮できる環境を整えるとともに、多様な人材の活躍を促進することが不可欠となっている。このため国は、人材育成・確保・活躍支援を成長戦略の中核に位置付け、「人への投資」を通じた豊かな社会の実現を目指している。

○主な課題

- ・ **人口減少・少子高齢化の進行**：生産年齢人口が減少し、社会や産業を支える担い手が不足
- ・ **深刻化する人手不足**：地域経済や行政サービス、医療・介護などのエッセンシャルサービスの維持が困難
- ・ **AI・デジタル技術の急速な進展**：AI等の技術革新に対応できる新たな知識・スキルを持つ人材育成が必要
- ・ **地方の担い手不足と地域活力の低下**：人口減少が進む地域では、地域経済やコミュニティの維持・発展に必要な人材確保が課題
- ・ **国際的な産業・技術競争の激化**：AI、半導体などの成長分野で世界的な人材獲得競争が進んでいる

3. 背景と課題（本市）



本市の考え方と 課題設定

本市は、大学、研究機関、半導体をはじめとするグローバル企業が立地する特性を生かし、産学官民が連携してイノベーションを創出する環境が整った「ローカルハブ」の実現を目指している。また、すべての市民がWell-beingを実感し、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、交通インフラや公共施設の整備、災害への備え、自然環境の保全など、生活の安全性・利便性と環境の豊かさを両立する施策を幅広く推進している。昨年度のやさしい未来都市会議では、「**人財尊重社会の構築**」をテーマに議論を行い、「働く循環」と「暮らす循環」の両面から人への投資を進めることが、本市の持続的な発展と「**選ばれるまち**」の実現につながるとの認識を共有した。一方で、人口減少・少子高齢化の進行やAIをはじめとする技術革新の加速により、**地域や産業を支える人材の確保・育成がさらに重要**となっている。国においても「人材力の強化」を成長戦略の柱に位置付け、人への投資を推進している。こうした状況を踏まえ、本市においても「人財尊重社会の構築」の考え方をさらに発展させ、**現在取り組んでいる施策等のさらなる充実を図る**とともに、こどもから若者までが**地域の中で学び、育ち、活躍できる環境づくり**や、地域社会（行政、教育機関、企業、大学等）など**多様な主体が連携して人を育てる仕組みづくり**を進めていく必要がある。

4. 第五次東広島市総合計画 後期基本計画



2つの方向性から将来都市像を設定し、内外から
選ばれる都市へ

未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市
～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～

目指す方向性①

世界に貢献する
イノベーション創造のまち

目指す方向性②

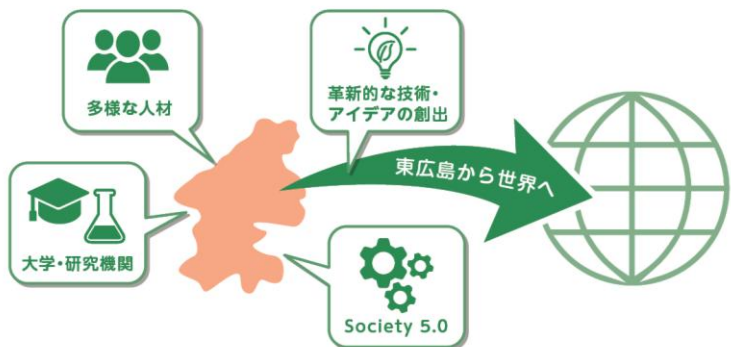
暮らし輝き笑顔あふれる
生活価値創造のまち

目指す方向性

1 世界に貢献する
イノベーション創造のまち



人工知能(AI)、IoT、ビッグデータなどの技術が急速に進化し、世界に大きな変革をもたらしています。日本でも、仮想空間と現実空間を融合させ、経済成長と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現が進められています。本市では、大学や研究機関、多様な人材が集まる環境を活かし、これまでにない新しいプロジェクトに挑戦します。市内各地で生まれる革新的な技術やアイデアを通じ、世界の多様な課題解決に貢献できるまちを目指します。



目指す方向性

2 暮らし輝き笑顔あふれる
生活価値創造のまち



SDGs(持続可能な開発目標)が掲げる「地球上の誰一人取り残さない」目標のもと、持続可能な社会の構築が求められています。本市では、美しい自然と快適な暮らしが調和した持続可能な次世代型環境都市を目指し、高齢者や障がい者、子どもを含む全ての市民が支え合い、安心して暮らせるまちづくりに挑戦します。特に子どもたちが家庭や地域の愛情の中で健やかに成長できる環境を整えていきます。また、多くの外国人市民が文化や習慣の違いを超えて地域に溶け込み、笑顔で活躍できる社会の実現を目指します。



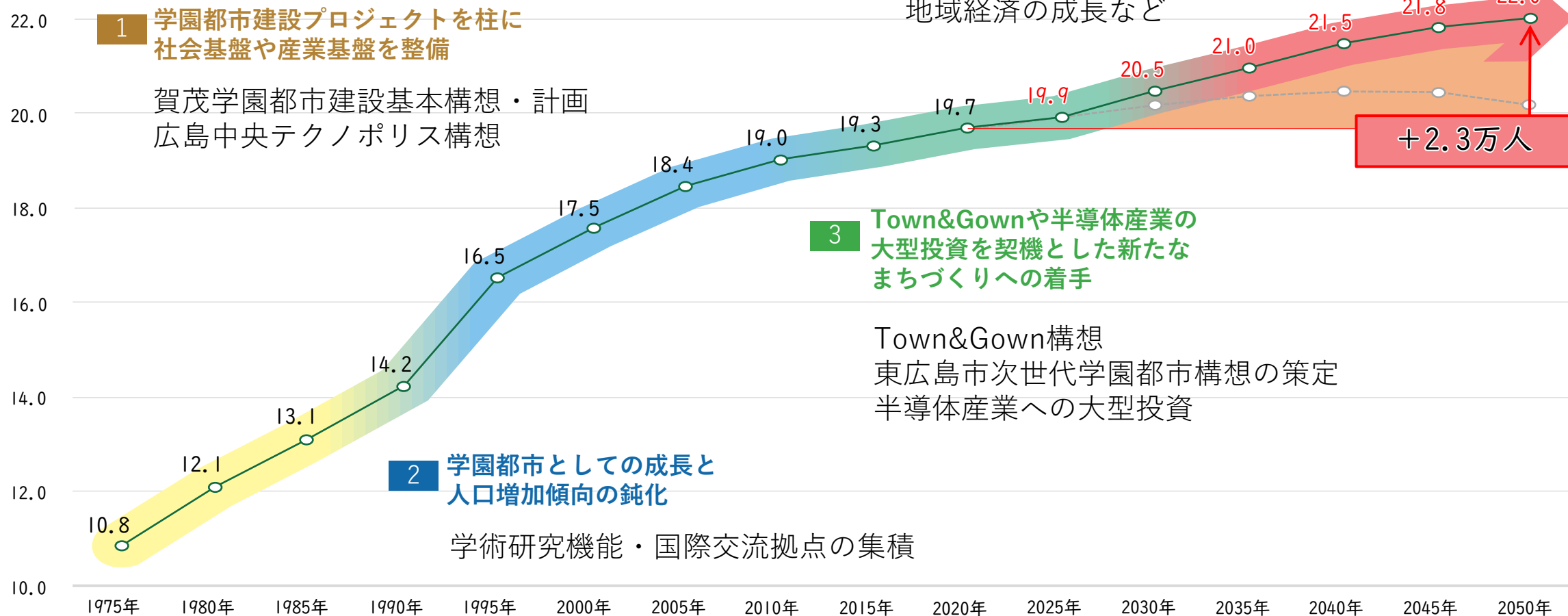
選ばれる都市、東広島

4. 第五次東広島市総合計画 後期基本計画



東広島市のまちづくりの「これまで」と「これから」

東広島市の総人口の推移
(万人)



4. 第五次東広島市総合計画 後期基本計画



重点 テーマ

重点テーマ

1

後期基本計画における重点テーマ

Well-beingを実感できる 地域共生社会の実現

方針

地域住民や地域の多様な主体が世代や分野を超えてつながり、「支え手」「受け手」という関係を超えて、学び合い、支え合い、感謝し合えるなどの「シアエル関係」を構築することで、市民一人ひとりが、身体的にも、精神的にも、そして社会的にも満たされた「健康」な状態（Well-being）を実感できるような「地域共生社会」の実現を目指します。

背景

人口減少に加え、超高齢化、核家族化、単身化が進み、かつて地域社会にあった信頼関係やお互いの精神、人と人のネットワークなど「ソーシャルキャピタル^{※1}」が低下したことにより、社会的孤立や孤独、自ら支援を求めることができない人の増加、様々な生活上の課題の複雑化・複合化など、従来の仕組みのみでは解決困難な地域課題・社会課題が顕在化しています。

こうした背景を踏まえ、市民一人ひとりがWell-being（幸福感）を実感できる地域共生社会の実現に向けた取組みを推進していきます。

着目する主なWell-Being指標

○地域とのつながり ○多様性と寛容性 ○自己効力感 ○健康状態 ○教育機会の豊かさ

関連するまちづくり大綱と施策

<まちづくり大綱>	<施策>	<関連ページ>
仕事づくり	産業イノベーション ^{※2} の創出	54
	働き方改革の推進による雇用環境の充実	64
暮らしづくり	暮らしを支える拠点地区の充実	66
	安全で円滑な生活交通の充実	68
	市民協働のまちづくりによる地域力の向上	74
	高齢化社会と国際化社会の推進	76
人づくり	人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	78
	高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	82
	知的資源と国際性を活かした人づくり	86
	市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	88
活力づくり	学術研究機能の昇進による都市活力の創出	90
	交通ネットワークの強化	96
	未来を感じるプロジェクト挑戦都市	100
安心づくり	災害に強い地域づくりの推進	102
	健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現	108
	共に支え合い誰もが安心して暮らせる地域社会の実現	110
	安心して子どもを産み育てられる環境づくり	112

※1 ソーシャルキャピタル：社会関係資本のこと。社会学、政治学、経済学、経営学などにおいて用いられる概念。
※2 イノベーション：経済発展の最も主要な要因。「新結合」「新発想」「新たな価値を創造し社会に大きな変化をもたらす幅広い意味での革新」。

重点テーマ

4

後期基本計画における重点テーマ

子どもの健やかな成長のための 環境づくり

方針

子どもを権利の主体として認識し、子どもの視点に立って、子ども・子育て世帯への切れ目ない支援を充実させることで、全ての子どもが健やかに成長し、将来にわたって幸せな状態で生活を送ることができる社会（＝「こどもまんなか社会」）の実現を目指します。

背景

核家族化や高齢化の進行、地域住民のつながりの希薄化などから、子どもや子育て世帯を取り巻く環境は大きく変化しています。

「こどもまんなか社会」の実現を目指すためには、当事者である子どもの視点に立ち、安心して子どもを産み育てられる環境の整備や、仕事と子育てを両立するための支援の充実、社会的な支援を必要とする子どもへの対応など、様々な取組みを進めていくことが求められています。

こうした背景を踏まえ、子どもの健やかな成長を支えるための環境づくりを推進していきます。

着目する主なWell-Being指標

○子育て ○初等・中等教育 ○教育機会の豊かさ ○地域とのつながり ○雇用・所得

関連するまちづくり大綱と施策

<まちづくり大綱>	<施策>	<関連ページ>
仕事づくり	産業イノベーション ^{※1} の創出	54
	働き方改革の推進による雇用環境の充実	64
暮らしづくり	暮らしを支える拠点地区の充実	66
	市民協働のまちづくりによる地域力の向上	74
人づくり	人権・平和の尊重と男女共同参画の推進	78
	乳幼児期における教育・保育の充実	80
	高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	82
	新たな価値を創造する人材の育成	84
	知的資源と国際性を活かした人づくり	86
	市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	88
安心づくり	安全・安心な市民生活の実現	104
	総合的な医療体制の確立	106
	共に支え合い誰もが安心して暮らせる地域社会の実現	110
	安心して子どもを産み育てられる環境づくり	112

5. 本市が行う人財への投資

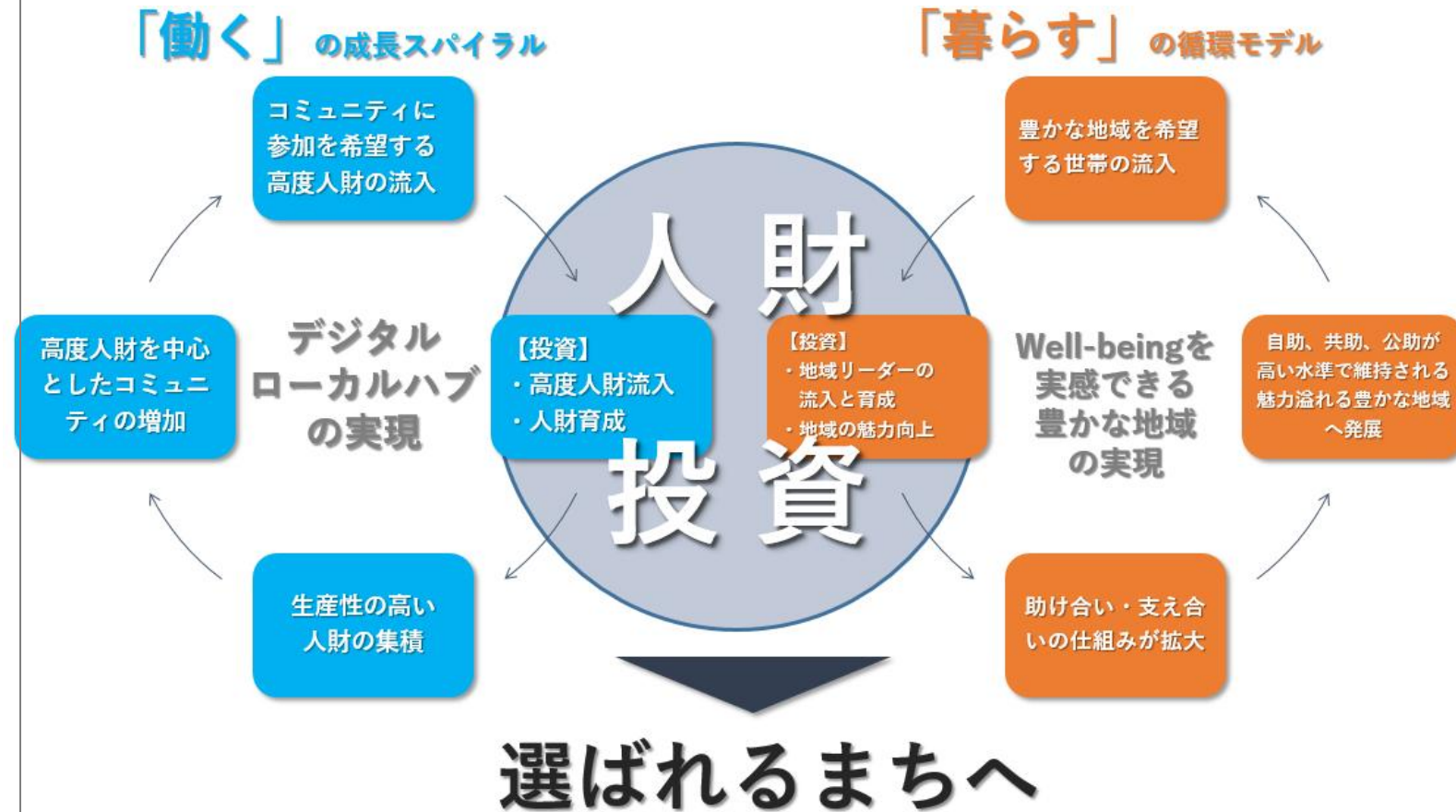
人財尊重社会の構築が 生み出すグッドスパイラル

「人財」への投資が
「豊かな地域」を生み出し、
その結果「選ばれるまち」へ

人財への投資を強化することは、人や組織のつながりを深め、多様な人財を呼び込み、そこから**新たな価値**を生み出す原動力となる。

この価値が**さらに人を引き寄せ**、地域に多様性と豊かさをもたらし、持続的な発展を促す**強い好循環**を形成する。

この好循環により、「**選ばれるまち**」となり成長し続けることを目指す。



5. 本市が行う人財への投資（予算への反映）



【R7やさしい未来都市会議の意見（一部のみ抜粋）】

- **リスクリングの推進**が重要！
- **地域と学生を結びつける仕組み**が必要！
- **学生や市民が地域活動へ参加しやすい体制**の整備が必要！

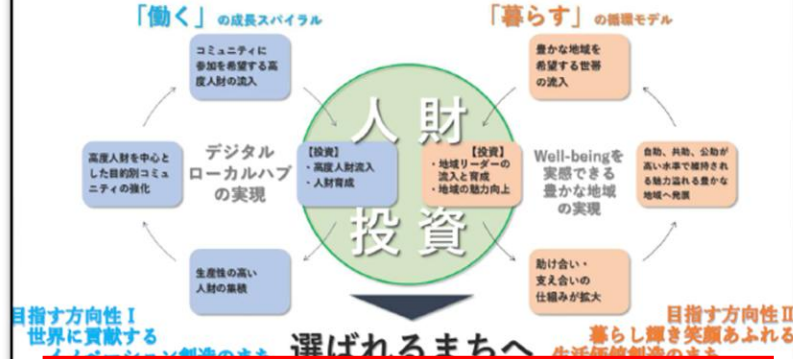
反映

(2) まちづくりを支える2つの基盤

① 人中心のまちづくりを進めるための「人財」への投資

3 億 8,062 万円

都市部へ人口が流出する中、地域の活力を保つためには、制度や仕組みだけでなく、人の力をどう活かし、挑戦や付加価値につなげていくかが重要である。
第五次東広島市総合計画後期基本計画で定めている4つの重点テーマを推進していくためには、協力していただける人財の発掘と育成、すなわち「人財への投資」が極めて重要である。
人財への投資を原動力に、挑戦と価値が産業と地域の成長を切り拓き、国内外へと広がる人の流れを呼び込みながら、人が輝き、新たな価値を生み出し続けるまちを実現していく。



「働く」領域の目指す姿 1 億 1,448 万円

高度人財の呼び込みと既存人財の育成を同時並行で進め、世界へ開かれた産業基盤を築くことで、さらなる投資を呼び込み、持続的な成長スパイラルを描く。
これにより国内外から「働きたい」「事業をしたい」と選ばれる都市への進化を目指す。

「暮らす」領域の目指す姿 2 億 6,614 万円

ソーシャルキャピタル（地域のつながりなど）を強化し、地域リーダーの流入と育成を両輪として進めることで、助け合い・支え合いの仕組みを広げ、孤立や虐待の減少、社会教育における人手不足の解消を実現する。
その結果、地域に愛着を持ち自己実現を果たす人や、この地域で暮らしたいと考える人が増え、世代を超えて支え合う豊かな地域となることを目指す。

「働く」領域

- ・高度人財呼び込みの取組み
広島大学スマートシティ共創コンソーシアムとの連携
国際教育に関する調査検討
グローバル人材育成の支援
学生の市内企業への就労支援 等
- ・人財育成の取組み
東広島イノベーションラボ ミライノ*における起業支援
起業や副業等を目指す女性を中心としたコミュニティの形成
企業のリスキリング及び就労支援 等



<令和7年度やさしい未来都市会議資料から一部抜粋>

「暮らす」領域

- ・地域リーダーの流入・育成の取組み
地域活性化人材（地域おこし協力隊、集落支援員、地域活性化起業家）
C S 挑戦応援事業の実施
多文化共生コーディネーターの配置 等
- ・社会教育がつなぐ地域人財の好循環
地域まるごと子どもの居場所づくりの推進
地域まるごと探求ラボの展開 等
- ・地域のつながり強化の取組み
協同労働インターンシップの実施
C SW（コミュニティソーシャルワーカー）の配置
見守りサポーターとの連携による地域の見守りの充実
こどもまんなかの居場所づくり（B B ベース）の促進 等



<令和7年度やさしい未来都市会議資料から一部抜粋>

令和8年度

施策と予算の概要

～人が輝き、新たな価値を生み出す「やさしい未来都市 東広島」～

東広島市

5. 本市が行う人財への投資（今後の課題）



国（骨太方針2026）
「人材力の強化」を成長戦略の柱に位置付け、人への投資を推進

- ・ 人口減少・少子高齢化の進行
- ・ AIをはじめとする技術革新の加速

◇地域や産業を支える人材育成がさらに重要

【今回の協議対象】

R8 やさしい
未来都市会議

R7 やさしい
未来都市会議
【前年度】

「人財尊重社会の構築」
※人財への投資

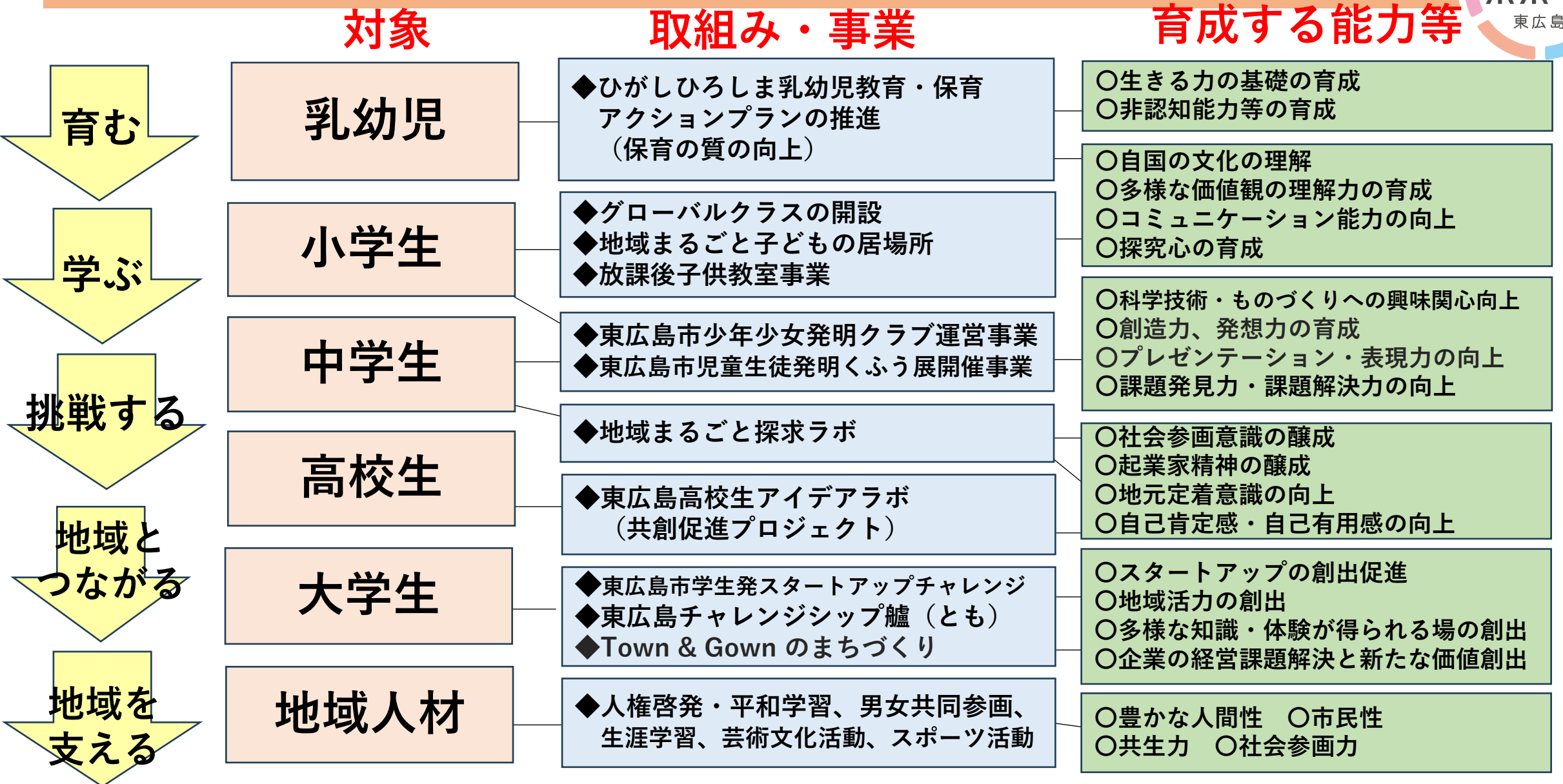
(⇒各施策の予算化)

さらなる
発展が必要

★今後の課題

- 現在行っている施策等のさらなる充実
 - こどもから若者までが地域の中で学び、育ち、活躍できる環境づくり
 - 地域社会（行政、教育機関、企業、大学等）など多様な主体が連携して人を育てる仕組みづくり
- (⇒現行施策等のさらなる充実、新たな環境づくり、仕組みづくり)

6. 本市が取り組む人材育成の施策（全体マップ）



6. 本市が取り組む人材育成の施策（乳幼児向け）



事業名：ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプランの推進

概要

乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である。目まぐるしく変化する現代社会を生き抜く力を、遊びを通して培うため、子どもが主体的に遊び、学び、人とかかわることを通して、「5つの力※」を育む教育・保育を推進している。また、自然保育や地域との関わりを通じて、豊かな感性や非認知能力の育成を図っている。

※アクションプランの中で目指す乳幼児期に育みたい5つの力：感じる・気づく力（感性・好奇心） うごく力（主体性・挑戦力） 考える力（思考力・創造力） やりぬく力（粘り強さ・自己調整力） 人とかかわる力（コミュニケーション力・協調性）

期待される効果、成果

- ・ 主体性や探究心、協調性など、生きる力の基礎の育成
- ・ 豊かな自然や地域との関わりを通じた郷土愛の醸成
- ・ 人との関わりの中で互いを認め合う力やコミュニケーション能力の向上
- ・ 小学校以降の学びや成長につながる非認知能力の育成

取組状況、今後の方向性

- ・ 幼保小連携の強化による切れ目のない育ちの支援
- ・ 自然保育や地域資源を活用した体験活動や保護者や地域と連携した子どもの育ちを支える環境づくりに取り組む施設の水平展開
- 令和8年度ひろしま自然保育認証施設数 【8施設（公立施設）】
- 令和8年度5つの力を育む魅力ある保育環境づくり参加施設数【17施設】

保護者と一緒にいる環境づくりワークショップの様子



自然環境を生かした体験や触れ合いの様子

6. 本市が取り組む人材育成の施策（小学生向け①）



事業名：東広島市立学校におけるグローバルクラスの開設（グローバルマインド育成事業）

概要

本市では、広島大学や半導体関連産業の集積などにより国際化が進展していることを踏まえ、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指し、市立小学校にグローバルクラスを開設する。

グローバルクラスでは、教育課程特例校制度を活用し、音楽、図画工作及び体育等の教科を英語で学ぶ特色ある教育活動を実施する。

期待される効果、成果

- ・ 自国の文化への理解を深め、他国の文化や考え方を理解し、互いに認め合いながら共に生きる力の育成
- ・ 英語を通したコミュニケーション能力の向上



グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指す

取組状況、今後の方向性

- ・ 令和9年4月に、高美が丘小学校にグローバルクラスを開設予定
- ・ 日本人教員と外国人講師（ALT）が連携して授業を実施
- ・ 保護者説明会や体験授業を実施。その後、公募を行い、年内に令和9年度入学生を決定

授業（図画工作科）のイメージ



6. 本市が取り組む人材育成の施策（小学生向け②）



事業名：地域まるごと子どもの居場所、放課後子供教室事業

概要

本事業は、東広島版「こどもまんなかの居場所づくり」の理念である「BBベース※」の考え方のもと、子どもに関わる全ての大人が「子どもの主体性を守る」という視点を持ち、子どもたちが自発的な遊びや活動を通じて試行錯誤を重ねることができる環境づくりを進める社会教育事業である。

事業内容は、子どもの居場所づくりをコーディネートできる人材を育成し、地域センターや学校施設などの地域資源を活用した居場所づくりを推進する【地域まるごと子どもの居場所】と、コミュニティ・スクールの仕組みを活用し、地域と学校が協働して行う子どもの居場所づくりを支援する【放課後子供教室事業】を実施する。

期待される効果、成果

- ・地域との関わりを通じて、子どもの地域への愛着や、地域の一員であるという意識を醸成する。
- ・様々な人との交流を通じて多様な価値観の存在を知り、理解する力を育む。

また、子どもの居場所づくりを通じて、地域の中で人と人とのつながりを育み、人材と活動の好循環を創出することにより、市民一人一人のWell-beingや地域の活力向上を図る。

取組状況、今後の方向性

【地域まるごと子どもの居場所】

社会教育が基盤となり、地域のヒト、場所等をつなぐ役割のある人材（地域センター事務職員等）に対して、コーディネート力の向上を図る研修会を実施し始めており、今後地域の大人と子どもが触れ合う場において、地域内でのつながりから地域へ参画する人材へと自然な成長を促す。

【放課後子供教室事業】

放課後や週末に、子どもが学習や体験活動等を行える居場所づくりに取り組む地域ボランティアの運営支援を行う。現在、市内15教室で活動を実施している。今後は、地域と学校の信頼関係のもと、子どもが安心して過ごせる居場所づくりが進むよう、地域ボランティアの主体性を尊重しながら、新規教室の立ち上げ支援などを行っていく。

※「BBベース」とは、子どもにとって遊びと学びがあり安心して過ごせる基地（ベース）という意味で、「遊び（ASOBI）」のBと「学び（MANABI）」のBをとって名付けたもの。具体的な場所だけでなく、時間や人とのつながりも含んだ心の居場所を意味する。



放課後子供教室の様子

6. 本市が取り組む人材育成の施策（小中生向け①）



事業名：東広島市少年少女発明クラブ運営事業

概要

市内の**小学4年生から中学3年生**を対象に、科学技術やものづくりへの興味・関心を育み、創造性豊かな人材を育成することを目的として活動している。クラブでは、科学的・独創的な発想に基づく工作や実験、発明くふう作品の制作などを通じて、発明する楽しさや創作する喜びを体験できる機会を提供している。また、大学生や企業関係者等の協力を得ながら、年間を通じた継続的な活動を実施し、児童生徒の探究心や課題解決力の向上を図っている。さらに、発明くふう展や全国少年少女チャレンジ創造コンテストへの挑戦を通じて、将来の技術者や研究者、起業家など地域や産業を支える人材の育成につなげている。

<期待される効果>

- ・科学技術・ものづくりへの興味関心向上
- ・創造力、発想力、探究心の育成
- ・課題発見力・課題解決力の向上
- ・将来の技術者・研究者・起業家など、地域産業を支える人材の育成

<成果>

- ・全国少年少女チャレンジ創造コンテストで継続的に全国大会へ出場
- ・発明くふう展への出展を通じた創作活動の定着
- ・児童生徒の科学的創造性とチャレンジ精神の向上

<取組状況>

項 目	内 容
活動体制	指導員、大学生補助者、企業・団体の協力による運営
対 象	市内小中学校に通う小学4年生から中学3年生 (R7実績：定員48人（新規コース21、継続コース27）)
活動頻度	原則月1回、年間12回程度実施
活動内容	工作・実験・発明作品制作などのものづくり活動
学びの特徴	実践的な体験を通じた探究学習・創造活動
発表機会	発明くふう展や全国コンテストへの挑戦を支援

<今後の方向性>

- ・発明くふう展や全国コンテストへの参加を促進し、挑戦機会の提供を行う
- ・教育委員会との連携により、人材育成を強化



6. 本市が取り組む人材育成の施策（小中生向け②）



事業名：東広島市児童生徒発明くふう展開催事業

概要

市内の小中学生から創意工夫に富んだ作品を募集・展示し、発明する意欲や創造性を育むことを目的として開催している。作品制作や発表の機会を通じて、児童生徒が身近な課題や困りごとに着目し、自ら考え解決策を形にする力を養うとともに、ものづくりへの関心や探究心の向上を図っている。また、市内で優秀な成績を収めた作品は広島県児童生徒発明くふう展や全日本学生児童発明くふう展へ出品され、より高いレベルで挑戦する機会を提供している。本事業を通じて、次世代を担う子どもたちの創造力や課題解決力を伸ばし、将来の技術者・研究者・イノベーション人材の育成につなげている。

<期待される効果>

- ・ 創意工夫する力の向上
- ・ 発明する意欲や探究心の醸成
- ・ プレゼンテーション・表現力の向上
- ・ ものづくりや科学技術への関心向上

<成果>

- ・ 県展において特賞等各種賞を受賞
- ・ 全日本学生児童発明くふう展へ出品
- ・ 発明・創作活動に挑戦する児童生徒の育成に寄与

<取組状況>

項 目	内 容
作品募集	市内小中学校を通じて創意くふう作品を募集
審 査	学校関係者・技術関係者等による審査を実施
展 示	応募作品を展示し市民に広く公開（R7出品数183点）
上位展示品	優秀作品を選定し表彰。県展・全国展への出品を実施（R7出品実績：県展12作品、全国展5作品）
連 携	教育委員会、商工団体等と連携して運営

<今後の方向性>

- ・ 学校や企業との連携強化
- ・ 発明クラブ等と連携した継続的な創造的人材育成



6. 本市が取り組む人材育成の施策（中高生向け）



事業名：地域まるごと探求ラボ

概要

本事業は、**中高生**を未来を共に創る地域人材として育成することを目的とした社会教育事業である。中高生一人ひとりの「やってみたい」という内発的な思いや主体性を学びの出発点とし、社会教育士のマネジメントのもと、地域・学校・企業・大学・行政が連携して、地域を学びと実践の場とした探求活動・協働活動を展開する。

事業内容は、初心者でも気軽に参加できる【地域実践プロジェクト】と、より主体的な地域活動に挑戦する中高生を対象とした【地域実践活動への伴走支援】の二つを柱として実施する。

期待される効果、成果

- ・多様な人との出会いや地域との関わりを通じた自己肯定感・自己有用感の向上
- ・地域の未来を自ら創る当事者意識及び社会参画意識の醸成

また、多様な主体が中高生の学びを支えることで、未来の東広島市を共に創る次世代地域人材を育成し、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」の好循環を創出し、地域のWell-beingの向上を図る。

取組状況、今後の方向性

【地域実践プロジェクト】

社会教育士及びファシリテーターのもと、中高生の「やってみたい」という思いを起点に、探求・協働を体験できる連続講座を実施する。参加者は、地域課題や地域資源への理解を深め、多様な主体との対話や協働を通じて地域実践プロジェクトを企画・実践し、地域の未来を自ら創る当事者意識を育む。

【地域実践活動への伴走支援】

上記プロジェクト以外に、社会教育士が地域実践活動の具体化や関係機関・地域団体との連携を支援する。地域での学びと実践が継続・発展するよう伴走型の支援を行い、多様な主体との協働を通じて主体的な社会参画を促進する。



6. 本市が取り組む人材育成の施策（高校生向け）



事業名：東広島高校生アイデアラボ（共創促進プロジェクト）

概要

東広島市及び近隣地域の**高校生**を対象に、自身の興味関心や日常生活で感じる課題、探究活動の成果などを出発点として、社会につながるアイデアへと発展させるワークショップを実施する。日本政策金融公庫等と連携しながら、課題発見やアイデア創出、対話によるブラッシュアップを通じて、主体性やアントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成を図る。また、地域や企業、支援機関との接点を創出し、自らの考えを社会に発信する機会を提供することで、将来の起業・創業や地域課題解決につながる人材育成を推進する。高校生ビジネスプラン・グランプリへの挑戦も視野に入れながら、若者の挑戦を支援する。

<期待される効果>

- ・ 起業家精神の醸成
- ・ 課題発見力・課題解決力の向上
- ・ 地域や企業との接点形成による地元定着意識の向上
- ・ スタートアップ創出人材の育成
- ・ 地域課題解決に取り組む人材育成

<成果>

- ・ 日本政策金融公庫等との連携による実践的な学びを提供
- ・ ビジネスプランコンテスト応募への意欲向上につながった

<取組状況>

項 目	内 容
対 象	東広島市及び近隣地域の高校生（10名程度）
実施形式	半日集中型ワークショップ
内 容	講座、アイデア創出、対話型ブラッシュアップ
発信機会	ビジネスプラン・探究成果の発表・共有
連 携	日本政策金融公庫等の支援機関

<今後の方向性>

- ・ 高校の探究学習との連携強化
- ・ 起業・創業をキャリア選択肢として認識する機会創出



6. 本市が取り組む人材育成の施策（大学生向け①）



事業名：東広島市 学生発スタートアップチャレンジ

概要

市内大学（広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学）の学生・大学院生を対象に、自由で創造的なアイデアや起業家精神を具体的な事業として実践する機会を提供するプログラムである。広島大学と東広島市が共同で実施し、採択されたチームに対して活動資金の支援や専門家によるメンタリングを行うことで、アイデアの事業化や社会実装を後押ししている。また、成果発表会（Demo Day）を通じて地域企業や支援機関との接点を創出し、事業創出に必要な知識や経験を習得する機会を提供している。本事業を通じて、起業家精神を持つ学生の育成や大学発スタートアップの創出を促進し、将来の地域産業やイノベーションを担う人材の育成につなげている。

<期待される効果>

- ・大学発スタートアップの創出促進
- ・起業家精神の醸成
- ・イノベーション創出人材の育成
- ・若者の地域定着及びイノベーション創出の促進

<成果>

- ・広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学の学生が参加
- ・専門家によるメンタリングを通じて事業アイデアを磨き上げた
- ・卒業生から起業やビジネスコンテスト受賞者を輩出

<取組状況>

項 目	内 容
実施主体	ひろしま好きじゃけんコンソーシアム（広大内）
対 象	市内大学の学生・大学院生 （R7実績：応募19チーム、うち採択13チーム）
支援内容	実証資金支援（最大30万円）
伴走支援	専門家・VC等によるメンタリング
実践機会	事業実証、プロジェクト活動の実施
発表機会	成果発表会（Demo Day）の開催

<今後の方向性>

- ・学生起業・大学発スタートアップ創出支援の強化
- ・学生の地域活躍・地域定着への仕組みづくり
- ・高校生施策から連続した起業家育成体系の構築



6. 本市が取り組む人材育成の施策（大学生向け②）



事業名：東広島チャレンジシップ艦（とも）

概要

市内企業の経営課題解決に**学生**がパートナーとして参画する実践型の人材育成・共創プログラムである。参加学生は生成AI、SNS運用、デザイン、ビジネスマナーなどの実践的スキルを習得した上で、市内企業とチームを組み、広報・集客・商品開発・事業企画などの課題解決に取り組む。企業との継続的な対話や伴走支援を通じて、学生の課題解決力やチャレンジ精神を育むとともに、企業の成長や地域経済の活性化を図る。また、地域企業との接点形成を通じて、若者の地域定着や将来の起業・創業につながる人材育成を推進する。

こうした取組を通じて、地域企業と若者とのつながりを創出し、地域全体で若者の成長を支えながら、将来の地域産業や地域社会を担う人材の育成と地域定着を図る。

<期待される効果>

- ・地域企業と若者をつなぐ人材循環の創出
- ・学生の起業家精神の醸成
- ・課題発見力・解決力の向上
- ・地域企業との接点形成による地元定着意識の向上
- ・企業の経営課題解決と新たな価値創出

<成果>

- ・SNSフォロワー増加や商談創出など企業活動への貢献事例を創出
- ・起業や継続雇用など次の挑戦につながる事例が生まれている
- ・AI、SNS、デザイン等の実践スキル向上

<取組状況>

項 目	内 容
対 象	大学生・大学院生・市内企業 (R7実績：参加学生19名、採択企業6社)
人材育成	AI、SNS運用、デザイン、ビジネスマナー講座
共創活動	学生と企業がチームを組み経営課題に挑戦（8～12月）
発表機会	最終報告会を開催し成果を共有

<今後の方向性>

- ・企業課題の解決につながる伴走支援の充実
- ・大学・企業・支援機関との連携拡大
- ・起業・創業や地域企業就職につながる導線構築
- ・若者が地域で活躍する共創モデルの確立
- ・継続的な関係作りを通じた、若者の定着支援



6. 本市が取り組む人材育成の施策（大学生向け③）



事業名：Town & Gown のまちづくり

概要

市（Town）と市内の3大学（Gown）が行政資源と大学の教育・研究資源を融合しながら活用することで、科学技術イノベーションによる地域課題の解決と人材育成のための地域共創の場を形成し、持続的な地域の発展と大学の進化を共に目指す取り組みである。大学と市の担当課が共同で地域課題の解決に取り組むCOMMONプロジェクトや大学生が地域で交流・活動することを支援する学園都市づくり交流会議など、市と大学が一体となった取り組みが人材育成につながっている。

期待される効果、成果

地域課題解決に学生が加わることにより、地域活力を創出するとともに、学生の地域への愛着が生まれる。

大学生にとっては、自分の発想を実践する体験が得られるチャレンジの場となっている。

また、学外の大人との接点生まれ、大学のカリキュラムにない多様な知識や体験を得られる場となっている。

取組状況、今後の方向性

市と大学が共同で設置したTown & Gown Officeを中心に、COMMONプロジェクトなどの事業を推進し、大学生も含めて、市と大学の接点や共創の場を創出する。

大学周辺でのまちづくりや地域活力づくりに取り組み、大学生が活躍し、成長を実感できる環境を創出し続ける。



酒蔵通り「町家」での学生イベント



広島国際大学「政治学」市長講義



COMMONプロジェクトでの
地域と学生のまちづくりワークショップ



学生企画のeスポーツ体験会

7. 「まとめ」と「本日協議したい論点」



【まとめ】

本市は、「人財尊重社会の構築」の考え方を踏まえ、人材への戦略的投資を「働く」と「暮らす」の二つの視点から進め、地域の知・技術・文化を活かした強い好循環の創出を目指す。

既存人材のスキル向上と高度人材の誘致により産業競争力を高め、グローバルに開かれたデジタルローカルハブとして成長する。

そのためには、現在行っている施策等のさらなる充実を図るとともに、「こどもから若者までが地域の中で学び、育ち、活躍できる環境づくり」や、「地域社会（行政、教育機関、企業、大学等）など多様な主体が連携して人を育てる仕組みづくり」を進めていく必要がある。

**今回のテーマ：「みんなで育てる、このまちの未来
—こどもから若者までを地域で支える—」**

【本日協議したい論点】

- 1 東広島市が行っている人材育成の施策等について、さらに充実させた方がよいと思う点は何か
- 2 地域社会が連携し、人を育てる仕組みをどのように構築すべきか